

調査・設計等分野における品質確保に関する懇談会 (平成 28 年度第 1 回) 議事概要

【日時】平成 28 年 10 月 31 日 (月) 16:00~18:00

【場所】国土交通省 (中央合同庁舎 3 号館 11 階) 特別会議室

【議事概要】

(1) 平成 27 年度調査・設計等業務に関する入札・契約の実施状況

- ・総合評価の建築業務の件数が 57 件ある。土木や測量・地質と同様に集計して報告して頂きたい。

(2) 設計成果の品質確保について

- ・修正箇所について、重要度の観点で、例えば費用や工期への影響について分析をすべきではないか。
- ・設計段階では予期できないようなものと、図面の数量修正のように設計段階で対処すべきものを区分けして対処方法を検討すべきではないか。
- ・地盤に関わる修正事項は、重要度やリスクの高いものになると推測されるので、リスクコミュニケーションという視点で地質の専門家が適切なタイミングで関与していく対応も考えられるのではないか。
- ・修正事項の原因や背景等については受発注者双方の視点から考える必要がある。受注者側の視点から、発注者の施策をどのように効果的に進めていくか要因を調べ、対策を検討し、次回懇談会で分析結果を報告する。

(3) 担い手確保・育成について

- ・履行期間の平準化の中で、3 月の比率は若干減っているが、測量業務のみの年度末の実態はあまり変わっておらず、4 月から 12 月の履行期限を増やしていくことが見えない。ここを延ばす施策や対策等を考えるべきではないか。
- ・繰越案件の比率が増えているということであるが、具体的な傾向を確認するため分野別、発注規模等を出して頂かないと、方向性をつかみ辛いのでさらなる分析をお願いしたい。
- ・若手・女性について、課題に対し早急に対応しないといけないので試行に取り組んでいるが、各地整で内容が異なっており、統一の検討をお願いしたい。
- ・結果のフィードバックが重要。複数の地整で同じタイプの試行を行えば、データ分析、問題点や課題の抽出が行いやすいのではないか。
- ・繰越制度の積極的に活用をお願いしたい。
- ・年間を通じて、どのように平準化していくかを提案していきたい。

(4) 技術者評価を重視した選定 (試行) に関する報告

- ・総合評価の落札率をどのように上げていくのか。技術点に差がつけば、落札率が上がるのではないか。技術点に差がつくような評価をどのようにしていくのか、総合評価そのものの改善について検討をお願いしたい。